

「函館の“戦争”を歩く」 ～函館山周辺フィールドワーク～

遺愛の地歴・公民の非常勤講師の先生方の呼びかけで、学期間休業の9月30日（水）に、希望者対象に函館山周辺の戦跡見学会が行われました。素晴らしい青空の下、遺愛生17名と教員7名の24名が参加しました。10:00に函館護国神社に集合し、御殿山第2砲台跡、千畳敷砲台跡を見学し、昼食後、函館空襲で戦闘機に攻撃された蔵を見て、称名寺慰霊碑、弥生小学校（函館空襲で大きな穴があく）などを見学し、15:00に函館ドック前で解散しました。

戦後70年経ち、当時の記憶が薄れ、函館にも空襲があったことを知らない世代が多く占めるようになりました。各見学地では、歴史の専門家から詳しい当時の状況が説明され、生徒達にはとても勉強になりました。1945年7月14・15日の函館空襲では、足に銃撃を受け、大きなケガをした遺愛生もいました。



2015年10月1日（木）